



自 転車旅行で洞爺湖を訪れ、そのまま移住を決めたという行動派の廣島夕美子さんは、石川県から移住して22年目になります。



**地域おこし協力隊が
出会った素敵な人紹介**

コト・モノを通して
人と人をつなぐ

廣島 夕美子 さん
(美沢東)

「タンスに眠る着物が違う形でもよみがえるところに面白味を感じます」と廣島さん。柄や素材の持ち味を活かした着心地のいい洋服は、ネットショップを中心に洞爺周辺のお店の一角やイベントなどでも販売しています。

「自分にあつた洋服を作りたい」と趣味で洋裁を習いはじめた約8年。着物のリメイクをしている先生について習ううち、古い着物の生地を魅せられ、今では自身のブランド「おかめ堂」を持つほどになりました。

く、オーダーする方もいます。一方「夏のにぎわいがなくなり、寂しくなった冬の洞爺を盛り上げたい！」という思いからスタートした「水の駅クリスマスフェア」立ち上げメンバーの一人でもあります。

今年、11月26日(土)〜27日(日)の2日間とうや水の駅1階・2階で開催します。ひと足早い湖畔のクリスマスフェア。まだ行ったことがないという方は、ぜひ足を運んでみてください。

このクリスマスフェアは、洞爺湖周辺で活動している方のハンドメイド作品販売の他に、数種類のワークショップも用意されており、さらには食事やライブも楽しめるという盛りだくさんの2日間です！

NPO法人洞爺まちづくり観光協会と協力し、有志4人で始めた「水の駅クリスマスフェア」も今年で6回目を数え、出展するお店も約40店舗にまで増えました。今ではすっかり冬の洞爺の定番イベントです。

(渡邊紀子)

東奔西走

広報とうや湖も11月号を発行し、気がつくとも年内残すところあと1回の発行となりました。

こどもの頃は「もういくつ寝ると…」なんていって、1年がものすごく長く感じていたものですが、年齢を重ねれば重ねるほど、ほんとに1年が早く感じます。

これからの人生は、更にスピードアップしていくのでしょうか。なんとも恐ろしいことです。(H.O)

今月のワンショット



センターパーク開設15周年記念大会で
ショットを決める参加者

人口と世帯の動き 9月30日現在(先月比)

男	4,282人	(△ 6)
女	4,944人	(△ 9)
計	9,226人	(△15)
世帯	5,007世帯	(± 0)